広報 とこみず

こうほう　とこみず

10月号

澄和137年10月1日発行

第1237号



表紙：田筋地区の稲刈り。刈った稲は、田水路に寄せた舟に積んで運びます。

特集

田当番の秋

常水町の田畑は、決まった家のものではありません。秋の田当番に同行し、刈った稲が町の蔵に入るまでを見てきました。

今月の主な内容

特集　田当番の秋	1〜2
水落としの日の過ごし方	3
上町の水抜祭	3
筋鮭の遡上と水路の通水	3
第47回 常水町水路まつり 当日のご案内	4
今月の点検・工事と運休	4

編集・発行　常水町役場 総務課

常水町上町一番地　電話 上町局808番

特集

田当番の秋 ― 稲刈りから町の蔵まで

常水町には税金がありません。そのかわり、田筋の田畑は決まった家のものではなく、町の人が当番で受け持ちます。9月29日に始まった秋の田当番は、10月20日まで続きます。今月は稲刈りの舟に乗せてもらい、刈った稲が町の蔵に入るまでを追いました。

その一

稲は舟で運ぶ



畦に並んだ鎌と桶。柄の焼き印で、どの家のものか分かります

田筋の田は、田水路で細かく区切られています。刈った稲は畦を担いで運ばず、田水路に寄せた舟に積みます。舟は一枚の田を回り終えると、はさ場のある岸まで下ります。

当番には、同じ町・村の五、六軒から一人ずつが出ます。鎌も桶も各家から持ち寄るため、畦には柄の色や焼き印の違う道具が並びます。夕方、持ち主の分からない鎌が一本残るのは毎年のことです。

その二

はさに掛けて日に当てる



田水路沿いのはさ掛け。足もとの水路には目高がいます

刈った稲は、田水路の岸に組んだはさに掛けて、二週間ほど日に当てます。はさの脚は、分水枡をふさがない位置に立てます。田に水を配る枡は、稲刈りのあとも冬まで使うためです。

はさの下の田水路では、目高が群れています。

その三

町の蔵と分け前



蔵の前に並んだ分け前の桶。量り終えた桶から札を掛けます

乾いた稲は脱穀して、各町・村の蔵へ納めます。蔵の前では、暮らし課 分け前係が床帳の家ごとに分け前を量ります。

分け前は、当番に出た日数では決めません。当番に出られなかった家にも、同じように渡します。余った米は町の蔵に納め、翌年の種籾と、実りの少ない年の備えにします。

分け前の受け取り方

- **日**　10月下旬から、各町・村の掲示板でお知らせします
- **場所**　お住まいの町・村の蔵の前
- **持ち物**　家の桶か袋
- ご家族や隣の家の方が代わりに受け取ってもかまいません。
- 当番の日を交換したときは、暮らし課 当番係へお知らせください。

問い合わせ　暮らし課 分け前係・当番係（内線211）

数字で見る秋の常水町

秋の田当番	10月の水落とし	筋鮭の体長	和金の寿命
22日間	**4回**	**80〜110 cm**	**約60年**
9月29日から 10月20日まで	日曜ごとに 区画を移します	畳の短い辺より 長いものもいます	祖母の代からいる 金魚も珍しくありません

水落としの日の過ごし方



昨年の水落とし。水を抜いた小堀の底から、下駄が一つ出てきました

10月の日曜日は、区画ごとに水路の水を抜いて掃除する水落としです。

日	区画
10月4日（日）	上町・中町の第一環堀の内側
10月11日（日）	中町の第二環堀から第四環堀まで
10月18日（日）	田筋地区（町・村ごとに時刻をお知らせします）
10月25日（日）	縁町地区・断崖地区

- 家の水路の金魚は、前の晩までに桶へ移し、水見札に数を書いてください。桶を用意できない家の金魚は、水番課の預かり所でお預かりします。
- 水路の底を歩けるのは、水番が札を立てた区画と時間だけです。
- 底で見つかった物は、拾った場所を書いて水路課 堀係へお届けください。昨年は下駄が42足、湯呑みが17個、舟便の手紙が3通見つかりました。
- 掃除のあと水を戻し、水の具合を確かめてから金魚を家へ返します。冷え込んだ家の金魚は、そのまま窓辺の冬越し甕へ移してください。

問い合わせ　水路課 堀係（内線231）

上町の水抜祭



水留神社の手水舎（昨年）。水抜祭の朝に、手水鉢の水面を楓と菊に替えます

上町の水落としの前日、10月3日（土）に、水留神社（水留さま）の丘の下で水抜祭が行われます。昼の「桶移し競べ」は、三分間で金魚を何尾、桶へ移せるかを競います。数えるのは魚番です。夕方には桶返し踊りがあります。

当日は午前10時から正午まで、会場の小堀で舟の通行を止めます。

問い合わせ　観光課 行事係（内線281）

筋鮭の遡上と水路の通水



大滝を背泳ぎで登る筋鮭

天鏡原から筋鮭がのぼってきました。大滝は背泳ぎで登りますが、町の水路の曲がり角は苦手です。

- 動けなくなった筋鮭は、タモ網で腹を支え、入ってきた方向へ戻してください。足場の悪い場所や水門の中では作業をせず、水番に知らせてください。
- 胸びれを取っ手にしないでください。
- 取り除いた筋鮭は、家で食べるために持ち帰ることができます（1世帯につき1週間に1匹まで）。

頭が通っても、胴が通るとは限りません。

問い合わせ　水番課 見回り係（内線241）

第47回 常水町水路まつり　当日のご案内



昨年の水路まつり。始まる前の第二環堀

日時　10月31日（土）午後3時〜午後9時（雨の場合は11月1日（日））
会場　中町 第二環堀沿い（舟寄せ「二の環」から「四の環」まで）

屋台船の縁日、水路の灯籠流し、継ぎ手大工の仕事の実演を行います。灯籠は当日、会場の受付で配ります（数に限りがあります）。

午後3時から午後9時まで、第二環堀の舟の通行を止めます。帰りの巡り船は、午後9時30分まで臨時便を出します。

問い合わせ　観光課 行事係（内線281）

今月の点検・工事と運休

日	場所	内容
10月10日（土）まで	断崖地区 町道第4号線（崖道）	石段の補修のため一部通行止め
10月4日・11日・18日・25日（日）	各区画	水落とし（3ページ）
10月13日（火）	中町 第一環堀の閘門	定期点検のため午後1時〜3時は閉門
10月15日（木）	水重ケーブル（崖上駅〜崖下駅）	定期点検のため午前中は運休
10月31日（土）	中町 第二環堀	水路まつりのため午後3時〜9時は舟の通行規制

天鏡原航路の町営渡船「みずかがみ号」は、11月30日まで秋季ダイヤ（1日5便）です。

今月の空の道

今月の浮洲は、列島の西から東へ進みます。月の初めは大山の上、半ばに瀬戸内の島々を越え、月末には京都の上空に入る見込みです。下界の見え方は、その日の天気によります。

毎日の位置は、役場のホームページ「本日の浮遊場所」でご覧ください。

崖淵小学校だより

9月22日の通学路点検では、石段のぐらつき2か所と崖道の手すりのゆるみ1か所を確かめました。手すりはその日のうちに直してもらいました。石段は、10月10日までの崖道の補修工事で直ります。

常水町立崖淵小学校

お知らせ

秋の定例合議　10月8日（木）午前10時から役場で開きます。どなたでも傍聴できます。結果は11月号でお知らせします。

屋台船の冬季係留　受付は10月30日まで。舟便課 係留係へ。

冬越し甕の点検　ひびの入った甕は、10月中に水番課へお持ちください。

役場の屋上の舟着き場　町の方も使えます。辻舟と、乗合の屋台船も立ち寄ります。

役場のホームページ　「庁舎のご案内」「常水町民歌」、根の町地区の「地下の湖の主」のページを加えました。

魚発研究所の見学会　次回の日程は、11月号でお知らせします。

常水町役場

所在地　常水町上町一番地（環の湖のほとり、御内の入口に向かい合う大水門のそば）
電話　上町局 808番（代表）
開庁時間　平日 午前8時30分〜午後5時15分（土曜日・日曜日・祝日・年末年始は閉庁）

※常水町は創作上の架空自治体です。この広報紙は、創作プロジェクト「八百八水路」の一部として作成したものです。写真はAIで生成したものです。実在の地域・団体・人物とは関係ありません。